

令和6年4月吉日

東京科学機器協会  
会員各位

日本薬科機器協会  
会長 酒井 哲嗣

## 研修会 開催のご案内

拝啓 皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろは協会事業に格別のご高配をたまわり、厚く御礼申し上げます。

さて、協会では今年度の研修事業の一環として、下記の研修会を開催することといたしました。舟越亮寛先生を講師に迎え、「2030年課題に対応した医療DXと現場ニーズに呼応した薬科機器とは～付加価値から標準化へ～」という時宜にかなった演題にてご講演いただきます。

若手のみならず、多くの会員、社員の皆様のご参加をいただけるよう、お待ち申し上げております。なお参加費は無料です。

敬具

記

講師 舟越 亮寛先生 (医療法人鉄蕉会医療管理本部薬剤管理部長／亀田総合病院 薬剤部部長)

演題 「2030年課題に対応した医療DXと現場ニーズに呼応した薬科機器とは～付加価値から標準化へ～」

### 講演要旨

2030年問題は、日本社会の高齢化に伴って労働人口が減少し、多くの企業が労働力不足や競争激化、人件費上昇などの課題に直面する社会的な懸念を指しています。2024年に既に物価上昇に伴う人件費上昇、働き方関連法最終段階がスタートしました。併せてデジタルヘルス改革から医療DX推進が更に強化されています。薬学教育も2024年度から改訂モデルコアカリキュラムがスタートし、医療情報、薬剤疫学などデータサイエンスを薬学部で学ぶ時代突入しました。そのような中で、薬科機器は機器から新たな情報を産み出すソフトウェアを標準実装していく時代になってきました。時代に対応し、現場が欲している標準化は何か。改めて社会環境と制度改革、医療現場を中心に紹介したいと思います。



日時：令和6年5月16日（木）午後6時～午後8時（予定）

場所：オンライン（Zoomウェビナーにて行います）

お申込方法：受講ご希望のかたは下記までメールにてお申込み下さい。

メール内容： タイトル 「研修会受講希望」と書いてください  
所属名（会社名）  
お名前  
メールアドレス

以上を明記して下記までメールにてお申込みください。（申込締め切り 5月10日（金））

宛先メールアドレス：[info@nyk.gr.jp](mailto:info@nyk.gr.jp)

折り返し、受講用URLをお送りします。

お問い合わせ：日本薬科機器協会事務局 東海林（しょうじ）まで

email: [h-shoji@nyk.gr.jp](mailto:h-shoji@nyk.gr.jp) Tel: 03-3407-8831